

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防出初式実施		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防体制の整備
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(一部委託)

事業概要			
<p>事業概要 消防出初式は、岡崎市の消防職団員をはじめ防災関係者の士気の高揚、市民への防災思想の普及宣伝を目的に全国的に年初に開催しているもの。</p> <p>対象 消防職団員及び防災関係者</p> <p>手段 1月に乙川河川敷で実施する消防出初式で訓練、表彰、機械器具点検等を実施する。</p> <p>意図・成果 消防出初式は、年頭に消防使命の自覚を新たにするため、岡崎市消防本部、岡崎市消防団等が一体となり実施するもので、消防機関の練成練磨を形として市民に広く披露する場であり、訓練や消防用資機材を始めとする消防力について市民に理解していただき、消防への信頼を深めていただく絶好の機会であり、消防職団員の士気の高揚、市民への防災思想の普及宣伝を目的としている。なお、平成25年消防出初式から式典中の災害発生を想定し、これまで以上に各地域における配備体制に万全を期すため、各地域ごとに消防団車両及び消防団員を計画的に待機させている。内容については、市長査閲、年頭の辞、来賓祝辞、車両分列行進、徒歩分列行進、一斉放水、救助訓練、表彰等を実施する訓練及び式典を合わせ持った活動であり、市民に対して火災予防の重要性を発信している。出初式は、消防機関の練成練磨を形として市民に広く披露する場であり、訓練や消防用資機材を始めとする消防力について市民に理解をいただき、消防への信頼を深めていただく絶好の機会であり、消防職団員の士気の高揚、市民への防災思想の普及宣伝を目的としている。</p>			

指標						
定量指標	指標名	2021年度実績値	2022年度実績値	2023年度実績値	2023年度目標値	2024年度目標値
	消防団員参加者数 単位:人			650	650	650
	見学者数 単位:人			7000	5000	10000
定性指標	2021年度達成結果	新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ開催中止とした。				
	2022年度達成結果	一斉放水等の実施で消防団員の士気を高めると共に、市民が消防車両と記念撮影できる機会を設け防災思想を普及できた。				
	2023年度達成結果	新たな試みとして出初式を式典と消防フェスタ(アトラクション)に分けて実施。消防フェスタではこれまでと同様に一斉放水や救助訓練を披露するとともに、車両分列行進においては子供達を消防車に乗せて実施し、消防団員士気を高め、ひいては市民の防火防災思想の普及を図ることができた。				
	2023年度達成基準	消防団員の士気高揚及び市民の防災思想の普及を図る。				
	2024年度達成基準	11月に実施する消防団連合観閲式を、消防出初式との同時開催し、消防団員の士気高揚及び市民の防災思想の普及が図られている。				
指標分析	災害現場でも必要な規律ある態度や行動を披露することにより、市民に消防業務についての理解と信頼を得るとともに、防災思想の普及宣伝を行うことができた。					

コスト		2021年度決算	2022年度決算	2023年度決算
	事業費等(単位:円)	0	3,432,196	3,924,930
	人員(単位:人)	0.0	0.4	0.5

担当所属	消防本部総務課	連絡先	21-9836
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	自主防災支援		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>地震等の大規模災害に限って、豊富な経験と知識・技術を活かせる消防職員及び消防団員のOBにより、消防署や消防団が行う活動を支援する岡崎市消防支援隊を編成し、その支援を行う。支援隊員は、岡崎市消防本部退職者及び岡崎市消防団退団者で登録した者 編成及び人員は、21 消防団管内ごとに概ね 10 人 計 236 人登録(令和 5 年4月1日現在) 自主的に消防職団員の活動支援にあたるもので、報酬は支払われない。しかし、活動中における怪我及び死亡事故等は、岡崎市消防団員公務災害補償等条例を準用し補償する。</p>	
<p>対象</p> <p>消防支援隊員</p>	
<p>手段</p> <p>消防支援隊の登録・脱退事務 活動のためのジャンパー・ヘルメット・編上靴・皮手袋の貸与及び助言等</p>	
<p>意図・成果</p> <p>大規模災害の発生時に、消防団員も被災者となることが考えられ、活動人員の不足が懸念されることから、この不安解消の対策として、支援隊を編成する。もって、消防活動の円滑化及び被害を軽減し、災害に強いまちづくりを進める。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	- 単位:-					
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図った。				
	2022 年度達成結果	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図った。				
	2023 年度達成結果	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図った。				
	2023 年度達成基準	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図る。				
	2024 年度達成基準	消防支援隊の入脱隊管理とそれに伴う貸与物品の円滑な管理。脱隊者から回収した貸与品を消耗程度に応じ更新を図る。				
指標分析	貸与物品を円滑に管理した。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	436,550	412,050	495,850
	人員(単位:人)	0.2	0.1	0.1

担当所属	消防本部総務課	連絡先	21-9846
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防団連合会補助		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防団体制の整備
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(補助等)

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>現在の岡崎市が形成されるまでの町村合併の過程で、各町村の地域防災の担い手である消防団をそのままの形で存続させ、地域防災力の維持・強化を図ってきたことで、現在、21 消防団が本市に設置されている。多団制下では、大規模災害や消防団の管轄を越えての災害時には、消防団相互の円滑な消防団活動が必要であることから、各消防団間の連携及び消防団員の資質の向上・均等化を図るため、消防団連合会を結成している。多団制消防団による活動は、地域の実情に詳しい消防団長が指揮を執ることで迅速的確な災害対応が可能で、地域と密接な関係が構築されていることから要支援者の救助活動にも優れ、自らの地域は自ら守るという消防団のモチベーションも高くなり、本市消防行政に不可欠であることから、消防団連合会に対し健全な消防団運営を行うための活動助成を行う。</p> <p>対象</p> <p>岡崎市消防団連合会【連合会を形成する 21 消防団、消防団を形成する 106 部(消防団の規模により編成する部の数は一律ではない)及び定員 1,517 人】</p> <p>手段</p> <p>消防団連合会に運営費、21 消防団及び消防団を構成する各部(106 部)に運営費を交付する。</p> <p>意図・成果</p> <p>消防団員には、年額報酬、出勤手当を支給しているが、消防団組織を運営していくために、岡崎市として、消防団連合会を通じて、各団、各部に運営費を交付し消防団活動を支援、健全で地域貢献の高い消防団活動により、消防団に対する住民の理解度を高め、地域における消防団員確保を推進する。(4年度事業)観閲式 理事会(年6回) 消防団員表彰 広報活動(成果) 消防団員の充足率も高い水準で維持され、地域住民の安全・安心な生活を支援している。(事業予算の推移) 平成 25 年度 7,529 千円 26 年度 7,529 千円 27 年度 7,529 千円 28 年度 7,529 千円 29 年度 7,529 千円 30 年度 7,529 千円 31 年度 7,529 千円 令和2年度 7,529 千円 3年度 7,529 千円 4年度 7,529 千円 5 年度 7,529 千円 6 年度 7,529 千円</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	消防団員数 単位:人	1468	1471	1478	1517	1517
	消防団員充足率 単位:%	97	97	97	98	98
定性指標	2021 年度達成結果	例年、全国における火災の原因別出火件数が上位である、「たばこ」による火災が低い件数で推移している。これらは消防団が地域で実施している広報活動の成果の一端でもあった。				
	2022 年度達成結果	例年、全国における火災の原因別出火件数が上位である、「たばこ」による火災が低い件数で推移している。これらは消防団が地域で実施している広報活動の成果の一端でもあった。				
	2023 年度達成結果	例年、全国における火災の原因別出火件数が上位である、「たばこ」による火災が低い件数で推移している。これらは消防団が地域で実施している広報活動の成果の一端でもあった。				
	2023 年度達成基準	消防団員の充足率を高く維持することで、消防体制を充実し、安全・安心な暮らしを守る。				
	2024 年度達成基準	消防団員の充足率を高く維持することで、消防体制を充実し、安全・安心な暮らしを守る。				
指標分析	消防団員の充足率、在籍率とも高値で維持され組織の充実強化は図られている。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	7,287,031	7,484,593	7,487,073
	人員(単位:人)	0.2	0.2	0.2

担当所属	消防本部総務課	連絡先	21-9866
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防団施設整備		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防団の管理
根拠法令要綱	消防組織法第9条		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要	
<p>事業概要 消防団車庫警備室及び消防用施設等の維持管理を行う。</p> <p>対象 消防団車庫警備室 106 部 118 箇所 火の見やぐら 49 箇所</p> <p>手段 消防団車庫警備室及び消防用施設等で使用に耐えがたいもの及び地元から要望があったものについて関係職員が現地を確認後、補修等の必要があれば整備を行う。また、中長期的な視点で施設の長寿命化に必要な整備を行う一方、維持管理が困難な施設については廃止を検討し、新たな施設の整備を行う。</p> <p>意図・成果 消防団の車庫警備室及び消防用施設等の維持管理を行い、消防団活動の万全な体制を維持し各種災害に備える。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	車庫警備室等営繕実 施件数 単位:件	15	17	19	38	30
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	目標値を下回る件数となったが、緊急対応分を始め迅速な対応ができた。				
	2022 年度達成結果	緊急対応分を始め迅速な対応を実施し、消防活動に支障とならない状態とすることができた。				
	2023 年度達成結果	緊急対応分を始め迅速な対応を実施し、消防活動に支障とならない状態とすることができた。				
	2023 年度達成基準	消防団施設の老朽箇所に対し、迅速な営繕工事を実施し、消防活動に支障とならない状態とする。118 箇所の消防団車庫警備室及び 49 箇所の火の見やぐらについては、現地調査により必要な整備を検討する。				
	2024 年度達成基準	消防団施設の老朽箇所に対し、迅速な営繕工事を実施し、消防活動に支障とならない状態とする。118 箇所の消防団車庫警備室及び 49 箇所の火の見やぐらについては、現地調査により必要な整備を検討する。				
指標分析	緊急を要する計画外案件に対応したため、目標値を下回る件数となったが、迅速な対応ができた。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	1,245,200	2,634,500	51,546,935
	人員(単位:人)	0.4	0.5	0.3

担当所属	消防本部総務課	連絡先	21-9866
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	危険物保安連絡協議会運営		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要	
<p>事業概要 消防機関と会員相互の連絡協調を図り、防火思想を普及徹底するとともに、消防設備等の維持管理及び運用に万全を期し、災害の絶無と社会の安全確保を目的としている。令和5年4月1日現在、225 会員</p> <p>対象 岡崎市内の危険物製造所等を有する事業所、一般防火対象物の関係者で組織する各種団体、自衛消防組織を有する事業所など、本会の目的に賛同する事業所で組織されている。</p> <p>手段 ・優良事業所に対する表彰・自衛消防組織に対する教養及び訓練 ・危険物取扱事業所への安全管理思想の啓蒙 ・機械器具取扱講習会、初期消火技術発表会、普通救命講習会等の開催 ・防火思想高揚のための研修会を実施 ・春・秋の火災予防運動への協力</p> <p>意図・成果 危険物保安連絡協議会会員事業所に対し防火意識向上のための啓蒙活動を実施し、社会の安全確保が図れている。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	協議会主催行事回数 単位:回	6	8	8	8	8
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図ることができた。				
	2022 年度達成結果	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図ることができた。				
	2023 年度達成結果	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図ることができた。				
	2023 年度達成基準	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図る。				
	2024 年度達成基準	各種案内、講習会等の開催により、会員事業所における防火、安全管理の徹底を図る。				
指標分析	防火、安全管理の事業を実施し、会員事業所における防火思想の普及徹底、安全管理の意識向上を図ることができた。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	9,900	15,290	18,172
	人員(単位:人)	0.8	0.9	0.8

担当所属	消防本部予防課	連絡先	21-9863
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	ポスター・ちらし等配布啓発		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要	
事業概要	ポスター・ちらし等の配布により火災予防に対する意識の向上を図る。
対象	岡崎市民
手段	ポスター・ちらし等の配布(火災予防運動・消防法令遵守) ・ポスター掲示場所及びちらし配布場所 消防署、消防団、危険物保安連絡協議会、防災防犯協会、婦人自主防災クラブ、市関連施設、市立幼稚園、市立小学校、市立中学校、附属小・中学校、市私立保育園、市役所本庁、市民病院、中央総合公園、老人福祉施設、こどもの家、警察署、郵便局、JAあいち三河、ホテル・旅館業組合、遊技業組合、医師会、歯科医師会、すし組合、岡崎信用金庫、名鉄駅、ユニチカ、その他事業所、住宅防火訪問場所、市政情報コーナー、各種イベント、商工会議所、消防用設備業者等
意図・成果	年間を通じて、市民に対し、幅広く火災予防のPRを行い、防火防災意識の高揚を図る。

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	配布枚数 単位:枚	15000	15000	15000	15000	16200
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	イベント、立入検査等において岡崎市民、事業所関係者等へちらし、パンフレット等を配布するとともに、SNS等も活用し、火災予防の普及啓発を図ることができた。				
	2022 年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対応が緩和されたものの、職員の対応は緩和されることがなかったため、イベントの参加回数が見込めなかったため、SNSなどの広報手段も活用し、火災予防の普及啓発を図る。立入検査等においては、各事業所関係者等へちらし、パンフレット等を配布することで、法令遵守の広報を実施することができた。				
	2023 年度達成結果	多数のイベントに参加することができ、前年度以上の実績を残せた。また、HP、SNS のみならず、火災予防に関する募集イベントを企画し、広く周知することができた。 立入検査では、違反指導を積極的に実施するとともに、法令遵守のチラシやパンフレットを用い、多くの事業所に理解を求めることができた。				
	2023 年度達成基準	多くのイベントに参加し、現場でのちらしやパンフレットを用いた広報活動の機会を増やすとともに、SNS やホームページなどを閲覧してもらうための案内も含めた啓発活動を実施する。 立入検査は、違反指導を積極的に実施し、法令遵守のチラシやパンフレットを用い、視覚で理解いただけるよう工夫する。				
	2024 年度達成基準	前年度以上のイベントに参加し、広く火災予防を周知するとともに、火災予防に関する募集イベントを企画し、更なる飛躍を目指す。また、火災予防パンフレットを利用し、一人暮らし高齢者への住宅防火訪問を強化する。 立入検査・違反指導の強化を図るため、ポスターの掲出を実施し、更に多くの事業所に理解を得られるようにする。				
指標分析	事業所等におけるポスター掲示だけでなく、ちらし、パンフレット等を配布することで、市民に直接火災予防の普及啓発を図ることができた。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	533,962	652,421	635,426
	人員(単位:人)	1.3	1.4	1.1

担当所属	消防本部予防課	連絡先	21-9859
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	少年消防クラブ指導・育成		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>岡崎市少年消防クラブは、昭和 26 年各町単位として自主的に結成され、火の用心、夜回り、防火ポスター・習字等の展示などの火災予防活動を行っていたが、昭和 43 年3月に各クラブの連絡協調を図るため、各小中学校単体に連合クラブが組織された。連合クラブの組織に伴い各クラブの運営の助言、指導をする岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会が設立、現在に至っている。また、平成 26 年4月には、幼年期からの防火・防災教育及び少年少女を中心とした防災活動に参加できる基礎をつくるため、市内の各保育園、幼稚園及びこども園において岡崎市幼年消防クラブが結成された。</p>	
<p>対象</p> <p>・少年消防クラブ員・幼年消防クラブ員</p>	
<p>手段</p> <p>・少年・幼年消防クラブに対する運営指導 ・県消防学校1日入校 ・防火作品の応募・表彰 ・ジュニア消防士検定 ・消防教室、防災講習会等の開催支援</p>	
<p>意図・成果</p> <p>少年・幼年消防クラブの運営指導を行うことにより防火防災思想の啓蒙を図る。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	防火作品応募数 単位:枚	217	230	200	332	332
	幼年クラブ活動実施園数 単位:%					
定性指標	2021 年度達成結果	少年消防クラブについては、募集期間中に防火作品 217 点の応募があった。				
	2022 年度達成結果	少年消防クラブについては、募集期間中に防火作品 230 点の募集があった。以前、目標値を下回る結果となった。				
	2023 年度達成結果	少年消防クラブについては、募集期間中に防火作品 200 点の募集があった。以前の目標をさらに下回る結果となった。 この結果をもとに、教育委員会と連携を密にとり、少年消防クラブの活動の意義を教職員に理解してもらう共に、多くの出展が得られるような業務改善を図った。				
	2023 年度達成基準	少年消防クラブについては、募集期間中に防火作品 332点を募集する。 教育委員会と連携を密にとり、多くの出展が得られるような計画を図る。				
	2024 年度達成基準	業務改善の結果として即効性は求められないが、徐々に応募点数を目標値に近づける。また、積極的に学校へ赴き、少年消防クラブの活動を広く周知していける環境を構築する。				
指標分析	少年消防クラブについては、クラブ活動の意義などを理解させるため、職員が学校に出向いて直接表彰することで、小中学校の生徒自身がクラブ員であることの意識改革をとりすすめることができた。					

コスト	2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算	
	事業費等(単位:円)	334,528	477,101	434,163
	人員(単位:人)	0.7	1.0	0.7

担当所属	消防本部予防課	連絡先	21-9859
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	各種イベント等火災予防啓発		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要			
<p>事業概要</p> <p>毎年春と秋に火災予防運動を実施するだけでなく、年間を通じ各種イベントに参加し、火災予防思想の普及啓発を行うとともに、防火安全対策についての指導を行う。また、住宅火災による死者数は建物火災による死者の約9割を占めており、高齢者の占める死者数の割合が極めて高いことから、ひとり暮らし高齢者の住宅防火訪問等を年間を通して実施する。</p> <p>対象</p> <p>岡崎市民、ひとり暮らし高齢者</p> <p>手段</p> <p>・住宅防火訪問を実施 ・防災講習会等を実施 ・火災予防運動期間中に、各署所が消防車両で巡回しながら広報宣伝を実施 ・各種イベントにて岡崎市消防本部のキャラクター「レッサー君」とともに火災予防を啓発</p> <p>意図・成果</p> <p>・消防職員が直接ひとり暮らし高齢者の住宅を訪問することで、身体面や生活状況に応じた防火指導ができ、防火の気づきを与えることができる。・防災講習会において、住宅用火災警報器の設置状況、作動点検、設置後10年の機器取替えを促すことで、より安全安心に暮らすことができる。・消防車両で広報宣伝しながら地域巡回することで、視覚と聴覚に訴え、市民の防火意識の高揚を図り、火災の発生抑止につなげる。・各種イベントに積極的に参加することで、市民一人一人に消防に対する理解と認識を深めてもらうとともに、防火・防災意識の高揚を図り、「快適で安全な住みよい岡崎市」を推進する。</p>			

指標						
定量指標	指標名	2021年度実績値	2022年度実績値	2023年度実績値	2023年度目標値	2024年度目標値
	住宅防火訪問実施件数 単位:件			121	30	400
	単位:					
定性指標	2021年度達成結果	新型コロナウイルスの影響により実施なし				
	2022年度達成結果	新型コロナウイルスの影響により実施なし				
	2023年度達成結果	事業者・庁内各課の主導するイベントに積極的に参加することで、イベントの幅を広げていくことができた。住宅防火訪問は、期間限定ではなく通年実施し、121件の一人暮らし高齢者宅を訪問することができた。また、訪問することの効果を感じることができたため、来年度は更に多くの訪問ができるようにする。				
	2023年度達成基準	秋の市民祭として浸透していた消防ひろばの会場管理が変更となった影響で、今後の開催が中止となったため、他のイベントに積極的に参加し1,000人の来場者を見込む。ゼロ予算もしくは予算計上により代替イベントを計画し、あらゆる手段で火災予防広報を実施する。来年度から住宅防火訪問を再開し、30件実施する。				
	2024年度達成基準	事業者・庁内各課の主導するイベントに積極的に参加することで横のつながりを構築できたことから、出展依頼が経常的になった。これを利用し、更なる業務拡大に繋げていきたい。本年度は秋祭りの参加を再開し、広く火災予防を周知する。住宅防火訪問に関しては、400件を目標に実施する。				
指標分析	事業所・庁内各課と連携し、更なる啓発の場を増やすことができた。住宅防火訪問については、ひとり暮らし高齢者宅での火災で死者が出ていることから訪問数を増やすとともに、更なるPRが必要である。					

コスト		2021年度決算	2022年度決算	2023年度決算
	事業費等(単位:円)		0	0
	人員(単位:人)		0.0	1.2

担当所属	消防本部予防課	連絡先	21-9859
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	婦人自主防災クラブ運営		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(全部直営)

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>昭和 56 年8月に婦人自主防災クラブが結成(3クラブ 60 人)し、活動を開始した。婦人自主防災クラブは、自主的に組織された防災組織で、家庭や地域における防火・防災の知識や怪我などに対する応急処置の方法を身につけ、災害などの被害を軽減を図るとともに、地域の防災リーダーとして地域住民の防火思想の普及及び高揚に資することを目的としている。</p> <p>対象</p> <p>30 クラブ 545 人(令和5年4月1日現在)</p> <p>手段</p> <p>婦人自主防災クラブの運営に必要な資機材、被服等を貸与</p> <p>意図・成果</p> <p>婦人自主防災クラブの運営に必要な資機材被服等を貸与することにより、円滑な活動を図る。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	- 単位:-					
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	新型コロナウイルス感染症の影響で応急手当普及員養成講習が開催できなかったが、広報活動を通じて家庭内防火及び家庭内救急の必要性は訴えることができた。				
	2022 年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対応が緩和され、応急手当普及員講習が再開され、活動可能な普及員の増加された。また、広報活動を通じて家庭内防火及び家庭内救急の必要性は訴えることができた。				
	2023 年度達成結果	クラブ数の減少・女性消防団員の推進など、クラブの存続、女性消防団員とのすみわけなど多くの課題を抱える中、多くのクラブ員が積極的に応急手当普及員講習の資格取得を促すことができた。さらに地域でのイベントなどにおいて、クラブ活動を披露し、活動の向上、推進をすることができた。				
	2023 年度達成基準	積極的に応急手当普及員講習の資格取得を促し、講師として活動可能な普及員の増加を図るため、会議や研修の機会を捉え必要性を訴えていく。さらに地域でのイベントなどにおいて、クラブ活動を披露し、活動の向上及びクラブ員の増加に繋げる。				
	2024 年度達成基準	クラブ数の減少の波を抑えるため、クラブ活動が有意義に実施できる環境づくりに努めていきたい。また、クラブ活動が市民に周知できるようイベントへの共同参加を増やし、活動の意義を訴えていきたい。				
指標分析	講習会、各種会議、研修会等を積極的に実施し、クラブの存在意義を訴え、地域での活発な活動を促す必要がある。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	628,056	509,220	548,732
	人員(単位:人)	0.7	0.6	0.7

担当所属	消防本部予防課	連絡先	21-9859
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	婦人自主防災クラブ連絡協議会補助		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	火災の予防
根拠法令要綱	岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会補助金交付要綱		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(補助等)

事業概要	
<p>事業概要</p> <p>昭和 56 年8月に婦人自主防災クラブを結成(3クラブ 60 人)し、活動を開始した。婦人自主防災クラブは、自主的に組織された防災組織で、家庭や地域における防火・防災の知識や怪我などに対する応急処置の方法を身に付け、災害などの被害を軽減を図るとともに、地域の防災リーダーとして地域住民の防火思想の普及及び高揚に資することを目的としている。</p> <p>対象</p> <p>30 クラブ 545 人(令和5年4月1日現在)</p> <p>手段</p> <p>婦人自主防災クラブ連絡協議会が開催する新クラブ員消防教室、クラブ活動研修会、応急手当訓練、炊き出し訓練等に対する助成</p> <p>意図・成果</p> <p>「災害のない明るい街づくり」を目指し、火災予防の知識や日常起こりうる急病、怪我などに対する応急処置の方法を身につけることにより、火災等から生命財産を保護し、被害の軽減を図るとともに防災リーダーとして、地域住民の防災思想の普及及び高揚に資することを目的とする婦人自主防災クラブの活動を促進する。</p>	

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	婦人自主防災クラブ 普通救命講習受講者 数 単位:人	189	360	336	300	300
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	新型コロナウイルス感染症拡大により、普通救命講習会が縮小又は延期され、目標値を下回った。				
	2022 年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対応が緩和されたことにより、普通救命講習会が増加され、目標値を大きく上回った。				
	2023 年度達成結果	目標とする普通救命講習の受講者数より多少上回った。				
	2023 年度達成基準	普通救命講習の実施回数の増加を促すとともに、コロナ禍により普及した自宅学習のeラーニングを積極的に活用し、働く女性が活動しやすい環境の構築を目指す。				
	2024 年度達成基準	継続して普通救命講習の実施人数の増加を促すとともに、集合型の研修を増やし、コロナ禍で蓄えた知識を体を動かし、より濃い知識としていきたい。				
指標分析	昭和 57 年から続く普通救命講習であるが、コロナ禍で途絶えることなく、目標値以上のクラブ員が受講できていることから、クラブの意義を伝えつつ、引き続き活動を推進していく。					

コスト		2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算
	事業費等(単位:円)	1,170,887	1,378,458	1,398,478
	人員(単位:人)	0.6	0.6	0.6

担当所属	消防本部予防課	連絡先	21-9859
------	---------	-----	---------

令和6年度 業務活動評価表

評価区分:一般型

業務活動名	消防団観閲式		
分野別指針	暮らしを守る強靱な都市づくり		
個別計画等	消防法等	基礎事業名	消防団の管理
根拠法令要綱	-		
事業期間	- ~ -	運営形態	自治事務(一部委託)

事業概要	
事業概要	<p>複雑多様化する各種災害と諸般の要求に応えるため、防災活動の中核をしめる消防団員を一堂に会し、消防の団結と士気を高め、合わせて消防防災体制の充実と防災意識の高揚を図るため、各ブロックで消防団観閲式を開催していましたが、平成 12 年から乙川河川敷で消防団連合観閲式として毎年 11 月に開催されている式典です。消防団連合観閲式の開催 11 月開催 場所 乙川河川敷</p>
対象	岡崎市消防団員 1,415 人(機能別消防団除く)
手段	全団を乙川河川敷に集結させ、功績のあった消防団員及び消防団の表彰、ポンプ車、小型ポンプ積載車など約 90 台の一斉放水を実施する。
意図・成果	消防団連合観閲式を実施し、訓練披露、消防団員の表彰を実施することにより消防団員の士気の高揚をはかり、消防団活動の一層の推進を図るとともに、市民の防火意識を高める。

指標						
定量指標	指標名	2021 年度実績値	2022 年度実績値	2023 年度実績値	2023 年度目標値	2024 年度目標値
	参加人員 単位:人	149	462	540	950	950
	- 単位:-					
定性指標	2021 年度達成結果	新型コロナウイルス感染症対策のため、来賓及び参加者を削減し、見学者等の対策も含め、岡崎市民会館で式典のみ実施した。				
	2022 年度達成結果	感染症対策も施しながら、屋外で式典のみならず、車両を用いた分列行進及び一斉放水を実施した。				
	2023 年度達成結果	乙川河川敷において、式典、小型ポンプ操法披露、車両による分列行進及び一斉放水を実施した。				
	2023 年度達成基準	昨年同様、感染症対策も行い、晴天時には屋外で式典、分列行進及び一斉放水、雨天時は屋内で式典を行い、消防団員の士気の高揚を図る。				
	2024 年度達成基準	昨年同様、晴天時には屋外で式典、ポンプ操法、分列行進及び一斉放水、雨天時は屋内で式典を行い、消防団員の士気の高揚を図る。				
指標分析	新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変更され、内容もコロナ過前に近い形式での開催を検討し、参加団員及び待機部を減らすなど消防団員の負担軽減を図りながらも、日頃の訓練の成果を披露することができた。					

コスト	2021 年度決算	2022 年度決算	2023 年度決算	
	事業費等(単位:円)	949,926	2,895,967	3,028,614
	人員(単位:人)	1.7	1.8	2.7

担当所属	消防本部消防救急課	連絡先	21-9872
------	-----------	-----	---------